

◇下野上地区全体シナリオ

～大熊町復興の核となる拠点～

- I. 中長期的復興を見据えた規模の施設整備
- II. 持続的な生業を創出する産業と生活の場づくり
- III. 先行的整備で周辺市街地の復興に寄与

公益・業務施設等

- ◆ 大街区に複数の施設を配置して施設間の連携強化
- ◆ 駅前のにぎわいを創出し、中長期的復興に向けた拠点として整備
- ◆ 廃炉関連のテナント需要を見込み早期に整備

戸建住宅用賃貸宅地

- ◆ 約50戸分、400～500㎡のゆとりある画地
- ◆ 主に家屋の再建・新築が必要な帰還町民向けの宅地
- ◆ 町民等の要望を丁寧に汲みながら時間をかけて最適な整備を実施

駅西エリア
～町の復興と賑わいの拠点～

駅東エリア
～持続的な復興の為の拠点～

～需要に適切に対応する拠点～

旧梨畑エリア
～人々の生活と生業の拠点～

福島再生賃貸住宅

- ◆ 約80戸、単身想定中心
- ◆ 特に産業交流施設入居事業者を中心とした廃炉関連従業員向けの賃貸住宅
- ◆ 産業交流施設や商業施設など大野駅周辺施設の開業に合わせて整備

戸建住宅用賃貸宅地

- ◆ 約100戸分、400～500㎡のゆとりある画地
- ◆ 主に家屋の再建・新築が必要な帰還町民向けの宅地
- ◆ 既存の旭台団地等と一体的な住宅地を形成
- ◆ 早期に帰還を望む町民に向けて、大野駅西口エリアに続き早期に整備を実施

産業用賃貸敷地

- ◆ 約9ha
- ◆ 町内事業者及び廃炉関連事業者等向けの産業団地
- ◆ 需要調査等に合わせた画地割りを実施
- ◆ 廃炉関連需要等を見込み、大野駅西口エリアに続き早期に整備

凡 例	
	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
	区画道路・歩行者専用道路
	調節池
	公園
	特定公益的・特定業務施設
	特定公益的・住宅施設

